

このような社会の実現を目指します

家庭
で
できること



家事・育児・介護など、男性の協力が進めば、女性の負担が軽減されるだけでなく、女性が仕事や地域・個人活動での活躍の場が広がります。

**「男だから、女だから」という意識ではなく、
家族それぞれの個性を尊重しましょう**

地域
で
できること



役職は男性、補助は女性など、性別で役割を固定化せず、性別や世代にかかわらず、あらゆる人の声が届く住みよい村づくりが地域力の向上につながります。

**男女が区別なく、
それぞれの役割を担いましょう**

学校
で
できること



やりたいことや進路に、性別は関係ありません。ジェンダー平等教育を通じて、こどもたちが自分らしい進路や生き方を選べるよう取り組みます。

**性別にかかわらず、一人ひとりの個性を大切にし、
互いを尊重しましょう**

職場
で
できること



育児休業制度や柔軟な働き方を活用し、家庭と両立しながら働ける職場環境づくりが整えば、一人ひとりの活躍の場が広がり、職場に活気が出ます。

**性別で仕事の役割や役職を決めることなく、
個々の能力を発揮できる職場を目指しましょう**

互いを尊重し、支え合い、多様な個性が輝く朝日村

朝日村

第4次男女共同参画計画

女性活躍推進計画・DV対策基本計画・
困難な問題を抱える女性への支援計画

(令和8年度～令和12年度)

概要版

長野県 朝日村



男女共同参画社会とは

性別にかかわらず、誰もが自分らしく暮らし、学び、働き、地域活動に参加できる社会が、男女共同参画社会です。その実現に向けて、家庭・職場・地域などあらゆる場面で互いの人権を尊重し、責任や役割を分かち合うことが求められます。「男性だから」「女性だから」といった思い込みにとらわれず、一人ひとりの考え方や生き方が大切にされることが、男女共同参画社会の基本です。

このような社会の実現により、子育てや介護、仕事、地域活動などを無理なく続けやすくなり、誰もが安心して、いきいきと暮らせる朝日村を目指しています。

今、なぜ男女共同参画社会が必要なのか

少子高齢化や働き方の変化が進む中で、これまでの「男は仕事、女は家庭」といった考え方だけでは、暮らしや地域が成り立ちにくくなっています。

家事や子育て、介護、地域活動などを、みんなで支え合い、無理なく役割を分かち合うことが、誰にとっても暮らしやすい村づくりにつながることから、今、男女共同参画が求められています。

互いを尊重し、支え合う村づくりに向けて

性別や年齢、立場の違いにかかわらず、一人ひとりの思いや事情を大切に、互いに支え合うことが、多様な個性がそれぞれに輝き、誰もが安心して暮らし続けられる村づくりにつながります。

この考え方のもと、朝日村では本計画の基本理念を「互いを尊重し、支え合い、多様な個性が輝く朝日村」とし、さまざまな取組を進めていきます。

👉 計画はインターネットで検索できます

二次元コードを
お手持ちの
スマートフォンで
読み取ってください。



朝日村 第4次男女共同参画計画 検索

基本理念（目指す姿）

互いを尊重し、支え合い、多様な個性が輝く朝日村

基本目標

1

男女共同参画推進体制の整備・強化

施策1 男女共同参画推進のための制度等の整備

施策2 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

性別や多様な性のあり方にかかわらず、誰もが自分らしく学び、働き、活躍できる社会づくりが進められています。情報発信や学びの機会を通じて、多様性を尊重し合える村づくりの基盤を整備します。

こんな取組をしています

- 村ホームページや広報紙などによる周知啓発
- 学童期におけるジェンダー平等の理解促進
- 村民向けの講座の開催



5年ごとにアンケートを実施して、皆さんの意識や行動の変化等を調査し、計画の進捗管理をしています



基本目標

3

職業生活における男女共同参画の推進

女性活躍推進計画

施策6 ワーク・ライフ・バランスの実現のための家庭生活における男女の助け合いの推進

施策7 職業生活における女性活躍の推進

施策8 農家等における男女共同参画の推進

仕事と家庭を両立しながら、男女が互いに支え合い、能力と意欲を十分に発揮できる環境づくりが大切です。待遇や機会の格差をなくし、女性をはじめ誰もが自分らしく働き、生きられるよう取組を進めます。

こんな取組をしています

- 男性の育児参加の呼びかけ、家庭介護教室への参加促進
- 農業分野における女性活躍の支援、経営参画のための情報提供



基本目標

2

地域における男女共同参画の取組の推進

施策3 政策・方針決定の場における女性活躍の推進

施策4 地域・自主活動における男女共同参画の推進

施策5 非常時における男女共同参画の推進

性別にとらわれず、家庭や仕事、地域活動などで誰もが活躍できる地域づくりを進めます。政策・方針決定過程への女性の参画拡大を図り、防災や災害対応にも女性の視点を活かしていきます。

こんな取組をしています

- 村の審議会や委員会への女性委員の登用による女性の意見や発想が活かされる取組
- 柔軟な参画形態の推奨など、地域行事に女性が参加しやすい機会づくりの促進



身近な地域の
気になっていた事…
女性視点で取組んでみたい!



男性だから、職場や地域で
役職をしなくてはいけない?



基本目標

4

安心・安全な暮らしの実現

DV対策基本計画

施策9 ライフステージに応じた健康支援

施策10 暴力やハラスメントの根絶

施策11 困難な状況に置かれている人への支援

ひとり親家庭やDV、虐待など、さまざまな理由で困難な状況にある人を支えるため、相談や支援の充実に取り組みます。また、性別や年齢による体や心の違いを大切にしながら、思春期から高齢期まで、誰もが健康に暮らせる環境づくりを進めます。

こんな取組をしています

- 広報や健康情報誌等によるライフステージ・性別に応じた健康情報の提供
- ホームページ等を活用したDVやハラスメント相談窓口の周知
- 生きづらさを抱えるすべての方に寄り添う「伴走型」の継続的なフォローの取組

